

第74回近畿眼科 先進医療研究会



DME 治療を再考してみる



山口大学 大学院医学系研究科
眼科学 教授
木村 和博 先生

糖尿病黄斑浮腫(DME)は糖尿病網膜症における視力低下の原因の一つである。DMEへの治療は、抗VEGF薬が第一選択薬となり、以前に比べ視力改善および維持が可能となってきた。一方で抗VEGF薬も万能ではなく黄斑浮腫再発や遷延化を含めいくつか問題を抱えている。現状のDMEへのVEGF薬治療に関して振り返るとともに、問題点の一つであるVEGF薬の無効例に関して、MAに着目し検討を行ったのでその結果を報告する。さらに、遷延化、難治例ではVEGF薬を中心に、網膜光凝固、局所ステロイド薬並びに硝子体手術を組み合わせ、治療効果を模索していくがなかなか治療効果が得られないことも経験する。それ故、これらの治療法に加えて、新たな治療オプションが期待される。これについても、検討を加えて新たな知見をえたので報告する。本講演では、私なりではありますが、DME治療を再考し、その治療オプションについて改めて考えてみる。

日時：2021年7月29日（木）17時30分～18時45分
ZOOMによるWEB講演会となります。